

エネルギーの未来

ZOOM  
ウェビナー

# 日本は原発をやめられないのか？

— ドイツの取り組みと現状から学ぶ —

2021年 3月 20日 (土)  
12:00 ~ (ドイツ) | 20:00 ~ (日本)

参加申し込み(無料/定員先着 100名)は [コチラ](#)

<http://sayonara-nukes-berlin.org>

主催 : Sayonara Nukes Berlin



\*\*\*\*\* フクシマから十年 : Sayonara Nukes Berlin によるイベント \*\*\*\*\*

## 西村健佑氏を迎えてのオンライン講演

### 「エネルギーの未来 - 日本は原発をやめられないのか？ ドイツの取り組みと現状から学ぶ」

フクシマ原発事故から今年で 10 年。この事故をきっかけにドイツは脱原発へ舵を切り、2022 年の終わりまでにすべての原発が停止されることになっています。一方原発事故があった日本では、いまだに原子力発電を「ベースロード電源」と据え、事故後すべて停止されていた原発も何基か再稼働されています。

ドイツのエネルギー政策に関して日本では間違った情報も聞こえるほか、原発をやめてどのようにエネルギー需要を賄っていくのか、疑問に思う方も多いでしょう。まだ石炭に依存した火力発電が多いドイツですが、



## 講演者紹介

にしむら けんすけ  
西村 健佑

ベルリン自由大学・環境政策研究所環境学  
修士、エネルギー市場・政策エキスパート、  
ベルリンでエネルギー市場調  
査に関するコンサルタント会社  
Umwerlin を経営

<https://www.umwerlin.de>



それでどうカーボンニュートラルを達成できるのか、再生可能エネルギーの割合を高めていく上での今後の課題など、ドイツから学べることはたくさんあります。

これから先、負の遺産・放射性廃棄物を残すばかりの原子力エネルギーとも、二酸化炭素を排出する化石エネルギーとも別れを告げ、どのようにして持続可能な社会を子どもたちに託していくことができるかは、今、私たちに与えられている最大の課題と言えます。フクシマ原発事故から10年、単に現状批判だけでなく、どのような社会を私たちは求めていきたいのか、どういうエネルギー政策がそれを可能にするのか、2005年以来ドイツに住む環境・エネルギーエキスパート、西村健佑氏に話を聞きながら皆さんと一緒に考えたいと思います。